

日本家禽学会2014年度秋季大会

1. 公開シンポジウム (参加費無料)

日 時 : 2014年9月27日(土) 13:30~17:10
場 所 : 鹿児島大学 農・獣医共通棟 1階 101 講義室 (鹿児島市郡元 1-21-24)
テーマ : 産官学連携等による肉用鶏産業の展開 -鹿児島の事例-

概要:

現在、我が国の養鶏産業は TPP などの問題を控えて大きな転換期を迎えている。これらの諸問題を解決して、我が国の養鶏産業を発展させる一つの方策としては、産官学の連携や、その地域の特性を生かした養鶏産業を展開することも有効な手段となる。鹿児島県は、肉用鶏生産の全国一位の県であり、その先進的な事例は我が国の肉用鶏産業の今後の指針の一つになると考えられる。本シンポジウムでは、現在、鹿児島県で展開されている銘柄地鶏や銘柄鶏の開発とその高品質化を産官学連携等で行っている事例を紹介し、今後の我が国における肉用鶏産業の方向性を議論する。

開会宣言 大会委員長	岡本 新	13:30	~13:35
開会挨拶 日本家禽学会 会長	小野 珠乙	13:35	~13:40
講師紹介・座長	副会長 中川 次郎		
講演 1		13:40	~14:20
「鹿児島県で開発した銘柄地鶏」			
鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場 中小家畜部長兼養鶏研究室長 渡邊 洋一郎			
講演 2		14:20	~15:00
「サツマイモ飼料による銘柄地鶏の高品質化への試み」			
国立大学法人 鹿児島大学農学部 准教授 大塚 彰			
休憩 (15分)		15:00	~15:15
講演 3		15:15	~15:55
「飼料としての麴 -応用とメカニズム-」			
(株)源麴研究所 顧問 林 國興			
講演 4		15:55	~16:35
「高品質な銘柄ブロイラーの開発」			
(株)アクシーズ 取締役生産部長 榊 茂			
パネルディスカッション		16:40	~17:00
閉会挨拶 日本家禽学会 副会長	高橋 和昭	17:00	~17:05

2. 懇親会

日 時 : 2014年9月27日(土) 18:00~20:00(予定)

場 所 : ジェイドガーデンパレス(鹿児島市上荒田町19番1号)

<http://www.jadegarden.jp/access/>

会 費 : 会員、非会員とも5,000円(当日学会会場受付にてお支払い下さい)

3. 一般講演

日 時 : 2014年9月28日(日) 9:00~17:00(予定)

場 所 : 鹿児島大学 農・獣医共通棟

第1会場(2階203講義室)、第2会場(2階204講義室)

4. 総会、学会賞・優秀論文賞・優秀発表賞授与式

日 時 : 2014年9月28日(日) 13:00~14:30

場 所 : 第2会場(2階204講義室)

総会議題: 1) 経過報告 2) その他

参加費(28日) : 会員3,000円 非会員4,000円(当日会場受付にてお支払い下さい)

講演要旨 : 1部2,000円(当日会場で販売します)

大会会場へのアクセス

詳細は鹿児島大学農学部のHP(<http://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/contact/index.html>)
をご覧ください。

鹿児島空港からJR鹿児島中央駅まで

リムジンバス(鹿児島市内線 直行)で約40分

JR鹿児島中央駅から鹿児島大学農学部まで



キャンパスマップ



[宿泊について]

大会参加予定の方は早めに宿泊施設の予約をされるようお勧めします。

大会委員長 岡本 新 (鹿児島大学農学部)

お問い合わせ先：〒305-0901 茨城県つくば市池の台2 畜産草地研究所内
日本家禽学会事務局 TEL&FAX 029-838-8777
E-mail jpsa-s@naro.affrc.go.jp
学会ホームページ <http://jpn-psa.jp/>